

# ダニ媒介性疾患の予防について

## ダニ媒介性疾患とは・・・

マダニ類やツツガムシ類に咬まれることによって、病原体が媒介される疾患です。次の疾患は、山口県で発生が確認されているものです。

- 日本紅斑熱：病原体は日本紅斑熱リケッチア、媒介ダニはマダニ類です。症状は、高熱と紅色で米粒大の発疹などです。主として西日本でみられます。
- つつが虫病：病原体はつつが虫病リケッチア、媒介ダニはツツガムシ類です。症状は、発熱と発疹、リンパ節の腫れなどです。全国的（北海道等一部地域を除く）にみられます。
- 重症熱性血小板減少症候群：病原体はSFTS ウイルス、媒介ダニはマダニ類です。症状は、発熱と食欲低下、おう気、おう吐、下痢、腹痛などで重症化し、死亡することもあります。

## 「マダニ類」「ツツガムシ類」とは・・・

マダニ類やツツガムシ類は、草むらや藪などに生息しているダニです。「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウダニなど、家屋内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニ（吸血前：1～4 mm）



マダニ（吸血後：1 cm程度）



## ダニに咬まれないために・・・

マダニなど（マダニ類、ツツガムシ類）は山林、草地、荒地などに生息しており、特に春から秋にかけて活動が活発になります。草むらや藪に入ったり、近くを通る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌を露出しないようにしましょう。



**ダニ媒介性疾患に罹らないためには、ダニに咬まれないことが重要です!**

# ダニ予防のポイント

## ★服装は・・・

草むらや藪など、マダニなどの生息する場所に入る場合には、手袋、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、首にタオルを巻いたり、帽子をかぶるなど肌の露出を少なくしましょう。裾、袖、襟などの締まっている服やナイロン製の服はマダニなどが侵入しにくいですが、

## ★屋外では・・・

草むらに直接寝転んだり、座ったりは避けましょう。



## ★屋外活動後は・・・

家の中に入る前に衣類をよくはらい、家の中にマダニなどを持ち込まないようにしましょう。帰宅後は、体にマダニなどが付着していないか十分に調べましょう。

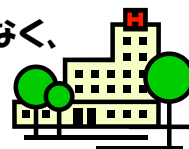
## ★ペットは・・・

ペットの散歩の際には、ペットが草むら等に入らないようにしたり、帰宅後にペットの顔周り、足の付け根、指の間、肛門周りにマダニなどが付着していないかどうか確認しましょう。

ペット（犬・猫）に付くダニの予防及び駆除については、効果的な薬剤もありますので、動物病院に御相談ください。

## ダニに咬まれたら…

マダニなどに咬まれても、  
痛みや痒みはあまりなく、  
気づかないことが  
多いようです。



## ★ダニが吸着していたら・・・

着いたマダニなどを叩いたり、潰したりせず、そのままの状態で皮膚科を受診しましょう。放置すると数日間以上吸着して吸血し続けますので、みつけたら早めに取り除くことが肝心です。

## ★ダニに咬まれたことに気づいたら・・・

咬まれてからしばらくの間（数日から2週間程度の間）は、発熱、発疹、下痢およびおう吐などの症状に気をつけ、健康観察をしてください。もし症状が出た場合には、医療機関を受診し「ダニに咬まれた」ことを必ず伝えてください。

